第６０回（令和５年度）

九 州 沖 縄 地 区 国 立 高 等 専 門 学 校 体 育 大 会

柔 道 競 技

令和5年　7月15日(土)･16日(日)

主　　催　　(主管校)佐世保工業高等専門学校
(担当校)北九州工業高等専門学校
(担当校)久留米工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟

総　合　本　部

佐世保工業高等専門学校

電　話　　０９５６－３４－８４２０

ＦＡＸ　　０９５６－３４－８４２５

ＵＲＬ　　https://www.sasebo.ac.jp/

試合結果のお問合せ等にご利用ください。

表紙の図案について

図案は、九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会旗のマークとして、有明工業高等専門学校建築学科名誉教授松島寛治先生によりデザインされたものであり、九州沖縄地区９高専（１０キャンパス）の位置を表徴している。

この競技要項に学生の個人情報を掲載するにあたっては、
個人情報保護法に基づき、本人の了解を得ております。

目　　次

大会役員 1
連絡協議会 2
大会日程表 3
第６０回（令和５年度）九州沖縄地区高等専門学校体育大会要項 4
感染症法上の位置づけ変更後の基本的な感染対策について 7
参加校（住所・電話番号） 9
大会参加者数（会場別） 10
競技種目別実施要項 11
組合せ及び予定時刻 14
競技役員・出場選手名 17

（案内）
監督会議・開会式日時及び会場、緊急病院 21
九州沖縄地区体育大会優勝校一覧 22

大　会　役　員

会　長

佐世保工業高等専門学校長　中　島　寛

副　会　長

北九州工業高等専門学校長　鶴　見　智

久留米工業高等専門学校長　松　村　晶

顧　問

有明工業高等専門学校長　八　木　雅　夫

熊本高等専門学校長　髙　松　洋

大分工業高等専門学校長　山　口　利　幸

都城工業高等専門学校長　田　村　隆　弘

鹿児島工業高等専門学校長　上　田　悦　子

沖縄工業高等専門学校長　佐　藤　貴　哉

連　絡　協　議　会

委　員　長

佐世保工業高等専門学校	学生主事	堂平	良一

副　委　員　長

佐世保工業高等専門学校	体育教員	吉塚	一典
	事務部長	藤田	勝律
	学生課長	宮良	幸代

委　　員

久留米工業高等専門学校	学生主事	龍頭	信二
	体育教員	赤塚	康介
	学生課長	木山	博志
有明工業高等専門学校	学生主事	坪根	弘明
	体育教員	野口	欣照
	学生課長	江崎	浩
北九州工業高等専門学校	学生主事	安部	力
	体育教員	八嶋	文雄
	学生課長	長濵	圭一
熊本高等専門学校 （熊本キャンパス）	学生主事	縄田	俊則
	体育教員	岩田	大助
	学生課長	江島	美穂
熊本高等専門学校 （八代キャンパス）	学生主事	村山	浩一
	体育教員	四宮	一郎
	学務課長	大山	俊博
大分工業高等専門学校	学生主事	大庭	恵一
	体育教員	川内谷	一志
	学生課長	佐々木	勝啓
都城工業高等専門学校	学生主事	永松	幸一
	体育教員	武田	誠司
	学生課長	野口	修
鹿児島工業高等専門学校	学生主事	北薗	裕一
	体育教員	堂園	一
	学生課長	浦口	健一
沖縄工業高等専門学校	学生主事	神里	志穂子
	体育教員	和多野	大
	学生課長	高江洲	哉子

令和5年度　九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会日程表

担当校	種　目	会　　場	6/30 金	7/1 土	7/2 日	7/10 月	7/11 火	7/14 金	7/15 土	7/16 日	7/17 月	7/21 金	7/22 土	7/23 日	7/24 月
佐世保工業高等専門学校	陸上競技	佐世保市総合グラウンド陸上競技場							○	○					
	ソフトテニス	佐世保市総合グラウンド　庭球場 （雨天時　サン・ヴィレッジさざ）							○	○					
	バドミントン	佐世保市東部スポーツ広場体育館						○	○	○					
	水泳	佐世保市総合グラウンド　プール							○						
	ハンドボール	佐世保市体育文化館		○	○										
北九州工業高等専門学校	硬式野球	大谷球場（北九州市） 桃園球場（北九州市）										○	○	○	予備日
	バスケットボール（男女）	総合体育館（北九州市）		○	○										
	卓球	第一警備スポーツセンター戸畑（北九州市）		○	○										
	剣道	北九州工業高等専門学校第1体育館								○					
久留米工業高等専門学校	サッカー	八女東部スポーツ公園 グリーンフィールド八女						○	○	○	予備日				
	柔道	久留米アリーナ武道場							○	○					
	バレーボール（男女）	久留米アリーナ							○	○					
	テニス	熊本県民総合運動公園パークドーム				○	○								

担当校	種目	会場	11/10 金	11/11 土	11/12 日	11/13 月	11/14 火
佐世保工業高等専門学校	ラグビー フットボール	佐世保市東部スポーツ広場 ラグビー・サッカー広場		○	○		○

第６０回（令和５年度）
九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会要項

１　参加校　　別紙参照

２　主　催　　（主管校）佐世保工業高等専門学校
　　（担当校）北九州工業高等専門学校
　　（担当校）久留米工業高等専門学校
　　九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟

３　期間　　令和５年７月　　１日（土）・２日（日）・１０日（月）・１１日（火）・１４日（金）
　　１５日（土）・１６日（日）・１７日（月）・２１日（金）・２２日（土）
　　２３日（日）・２４日（月）
　　令和５年１１月　１１日（土）・１２日（日）・１４日（火）

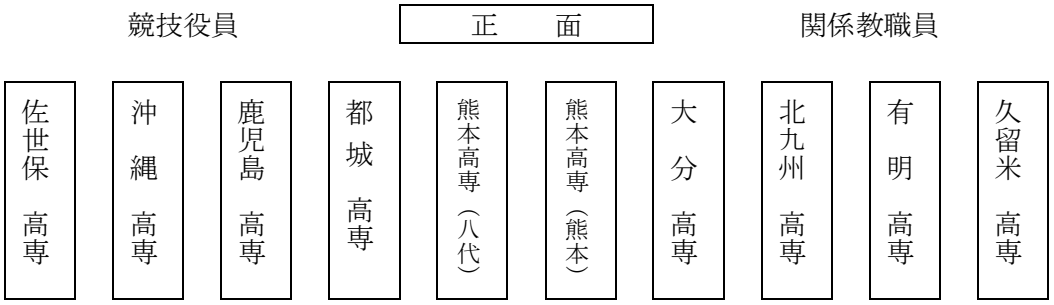
４　競技種目・競技会場及び試合開始時刻　　競技種目別実施要項参照

５　開会式及び閉会式

ア　開会式
　１　役員選手集合
　２　開式
　３　開会宣言
　４　国旗掲揚
　５　大会旗掲揚
　６　優勝杯返還及びレプリカ授与
　７　大会会長挨拶
　８　審判長注意
　９　選手宣誓
　１０　閉式

イ　閉会式
　１　役員選手集合
　２　開式
　３　成績発表
　４　表彰
　５　審判長講評
　６　大会会長挨拶
　７　国旗、大会旗降納
　８　閉会宣言
　９　閉式

ウ　開会式及び閉会式配列図



（注）　１　正面に向かって、右側から構成校順に整列する。
　　ただし、担当校は左端に整列する。
　　２　各会場とも開会式は、予定時刻３０分前に指定された場所に集合すること。
　　３　選手団の服装は、各高専で定められたものを着用する。
　　４　開会式及び閉会式の式次第は総合的なものを想定しており、各競技の実態に合わせて変更可能とする。

６　参加資格　　九州沖縄地区国立高等専門学校に在学する学生とする。

７　競技方法　　競技種目別実施要項による。

８　表彰

（１）学校対抗（団体の部）の優勝校に優勝杯を、準優勝校に準優勝杯を授与し、１～３位入賞校に賞状を授与する。

（２）優勝杯及び準優勝杯は、それぞれ持廻りとする。

（３）前年度優勝校にレプリカを授与する。

（４）個人対抗（個人の部）の各種目の１～３位入賞者に賞状を授与する。

９　選手の変更

参加申込後の変更は、原則として認めない。

ただし、やむを得ない選手の変更については、監督会議において承認を得るものとする。

１０　監督会議

競技種目別に定められた日時及び場所で行う。

出席者は、監督及び学生代表を原則とし、詳細は競技ごとに定める。

１１．全国大会出場資格

本大会において、次に該当するものは第５８回全国大会の出場権を得るものとする。

（１）陸上競技及び水泳における各種目別上位男子３位、女子２位までの入賞者。

ただし、リレーは上位入賞２チームとする。

（２）陸上競技のこの大会における男子３位、女子２位までの入賞者は、全国高等専門学校体育大会への出場権を得ることになる。男子リレー種目は、２位までの入賞チーム、有効期間内における公認記録の全国上位８チームとする。男子は１人２種目以内（リレー種目は除く）、開催校（又は開催地区）出場枠は各種目１名（１チーム）とする。女子は（３）の種目を除き２種目以内とする。

（３）下記の種目は標準記録を設け下記のような選出方法を行う。

・男子 400mH：59秒00、3000mSC：10分30秒00、棒高跳：3m50（この３種目も対校得点とする）

・女子 200m：28秒60、3000m：12分00秒00、100mH：17秒90、4×100mR：56秒00（この４種目も対校得点とする）

・男子400mHは有効期間内の公認記録上位 24 名以内、3000mSC と棒高跳は16名以内とする。

・女子 200m、3000m、100mH、走高跳、円盤投及びやり投は有効期間内の公認記録上位16名以内とする。

（４）陸上競技における公認記録の有効期間について、リレー種目は令和5年4月1日から令和5年7月18日までとし、これ以外の種目については令和4年8月22日から令和5年7月18日までとする。

（５）バスケットボール（女）、バレーボール（男）（女）、卓球（男）（女）、柔道（男）（女）、剣道（女）、バトミントン（女）、硬式野球については、それぞれの優勝チームのみとする。

（６）バスケットボール（男）、ソフトテニス、テニス、バトミントン（男）、サッカー、ハンドボール、剣道（男）、ラグビーフットボールについては、上位入賞２チームとする。ただし、ラグビー部合同チームの参加について、全国大会への出場権は認めない。

（７）ソフトテニスにおける個人戦は、上位入賞者男子ダブルス３組、女子ダブルス２組とする。

（８）卓球における個人戦は、上位入賞者男子シングルス２名、女子シングルス上位２名以内、男子ダブルス２組、女子ダブルス２組以内とする。

（９）柔道における個人戦は、級別上位入賞者男子２名、女子３名以内とする。

(10) 剣道における個人戦は、上位入賞者男子４名以内、女子３名以内とする。

(11) テニスにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス２名、女子シングルス２名、男子ダブルス２組、女子ダブルス２組とする。

(12) バドミントンにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス２名、女子シングルス２名、男子ダブルス２組、女子ダブルス２組とする。

(13) 開催校枠を保持している全国開催校のチーム・選手が上記規程の順位内に入った場合、バスケットボール（女）、バレーボール（女）、卓球（女）、バドミントン（女）を除いた競技については、上記規定の順位の１つ下の順位に入ったチーム・選手（複数該当する場合はその中から代表決定戦により選出されたチーム・選手）も、全国大会への出場権を得るものとする。

(14) 地区代表として１名も選抜されなかった学校は、その学校の最も優れた選手を開催種目の個人競技種目（リレー種目を除く。）のいずれか１種目に、１名又は、１組を出場させることができる。

１２．そ の 他

（１）担当校は、大会の運営について競技上の事故防止等に十分配慮すること。

（２）担当校は、気象警報発令時及び災害発生時においては、競技参加者及び大会関係者の安全を第一として競技実施の有無その他対応について判断し、決定した内容について速やかに参加校ほか関係機関に連絡することとする。各参加校においても、学校内の連絡先を点検し、連絡体制を確立しておくこととする。

（３）競技中の負傷については、各担当会場校で応急処置を施すが、その後の処置は参加校で行うものとする。

（４）選手は、健康保険証を必ず持参すること。

（５）高専学生として品位と節度のある応援を行うこと。

（６）新型コロナウィルス感染症感染拡大防止のため、別紙「感染対策法上の位置づけ変更後の基本的な感染対策について（令和５年５月２９日付け高専連合会通知）」を遵守し、感染防止対策に最善を尽くすこと。

　なお、各地域の感染状況を踏まえ、各競技において個別にガイドラインを設ける場合がある。

最新のガイドラインは、各競技担当校から参加高専に通知するものとする。

令５連合会第２１号
令和５年５月２９日

各高等専門学校長　殿

一般社団法人全国高等専門学校連合会
会長　鶴　見　　智
〔公印省略〕

感染症法上の位置づけ変更後の基本的な感染対策について

日頃より本連合会の活動に対し、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策について、連合会では、これまで「一般社団法人全国高等専門学校連合会主催コンテスト等実施における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」及び「全国高等専門学校体育大会における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関するガイドライン」を定め、共有してまいりました。

今般、政府は５月８日付けで、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の位置づけを従来の２類から５類（通常の季節性インフルエンザと同様）に引き下げました。その措置に伴い日常における感染対策については、主体的な選択を個人の判断に委ねることとなるため、本連合会として、従前の双方のガイドラインについては廃止することとします。

しかしながら、感染症法上の位置づけ変更後も、基本的な感染対策は重要であるため、下記に基本的な感染対策の考え方等をお示ししますので、ご確認、ご留意くださいますようお願いいたします。

１．基本的な感染対策の考え方

①マスクの着用

・個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本にします。
　※本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の判断が尊重されるようにご配慮をお願いします。

・基礎疾患を有する人等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、着用が効果的な場面ではマスクの着用を推奨します。
　※基礎疾患を有する人等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効です。

②手洗い等の手指衛生、換気

・新型コロナウイルス感染症の特徴をふまえ、基本的感染対策として引き続き有効なため励行を推奨します。

２．位置づけ変更後の陽性者・体調不良者の対応について

①陽性判定を受けた場合は、発症の翌日から５日間は外出を控え、症状が軽くなってから２４時間程度は外出を控えてください。その上で１０日間が経過するまではウイルスを排出する可能性があることから、できるだけマスクを着用し、人混みは避け、高齢者等との接触は控えることを推奨します。

②以下いずれかの目安に該当する「体調不良者」は、競技会、練習・試合等への参加を見合わせることを推奨します。

（ア）息苦しさ（呼吸困難)、強いだるさ（倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。

（イ）重症化しやすい方（基礎疾患を有する人等）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。

（ウ）比較的軽い風邪が続く場合。

※体調不良者は発症から数えて２日、および症状消失後より数えて３日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。

３．位置づけ変更後の新たな変異株出現等への対応

位置づけ変更後にオミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現する等、科学的な前提が異なる状況になった場合、また政府が新たな変異株を感染症法上の「指定感染症」等に位置付けた上で、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、基本的対処方針に基づく要請を行った場合には、本連合会はただちに必要な対応を講じることといたします。

また、今後において感染が急拡大している時期等、状況によってはこれまでの取り組みを参考に、本連合会として再び感染対策を強化していくこともありますのでご承知おきください。

以上

参　加　校

学　校　名	住所・電話番号
久留米工業高等専門学校	久留米市小森野１－１－１ ＴＥＬ　０９４２－３５－９３１７
有明工業高等専門学校	大牟田市東萩尾町１５０ ＴＥＬ　０９４４－５３－８８６１
北九州工業高等専門学校	北九州市小倉南区志井５丁目２０－１ ＴＥＬ　０９３－９６４－７２３３
佐世保工業高等専門学校	佐世保市沖新町１－１ ＴＥＬ　０９５６－３４－８４２０
熊本高等専門学校（熊本キャンパス）	合志市須屋２６５９－２ ＴＥＬ　０９６－２４２－６２２９
熊本高等専門学校（八代キャンパス）	八代市平山新町２６２７ ＴＥＬ　０９６５－５３－１２３３
大分工業高等専門学校	大分市大字牧１６６６ ＴＥＬ　０９７－５５２－６３６５
都城工業高等専門学校	都城市吉尾町４７３－１ ＴＥＬ　０９８６－４７－１１３５
鹿児島工業高等専門学校	霧島市隼人町真孝１４６０－１ ＴＥＬ　０９９５－４２－９０１５
沖縄工業高等専門学校	名護市字辺野古９０５ ＴＥＬ　０９８０－５５－４０３２

大　会　参　加　者　数

（担当校）久留米工業高等専門学校

学　　校　　名	教職員	監督	コーチ	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	選手	その他	計
久留米工業高等専門学校	45 (11)	4 (0)	3 (1)	2 (2)	54 (11)	3 (2)	111 (27)
有明工業高等専門学校	0 (0)	5 (0)	3 (0)	3 (3)	58 (14)	5 (1)	74 (18)
北九州工業高等専門学校	0 (0)	5 (0)	4 (1)	4 (3)	63 (17)	1 (0)	77 (21)
佐世保工業高等専門学校	0 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (2)	65 (19)	8 (8)	85 (29)
熊本高等専門学校（熊本キャンパス）	0 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (1)	41 (4)	1 (1)	46 (6)
熊本高等専門学校（八代キャンパス）	0 (0)	5 (1)	2 (0)	2 (2)	51 (12)	1 (1)	61 (16)
大分工業高等専門学校	0 (0)	5 (0)	5 (0)	4 (3)	67 (11)	4 (0)	85 (14)
都城工業高等専門学校	0 (0)	5 (0)	4 (1)	3 (3)	56 (12)	5 (5)	73 (21)
鹿児島工業高等専門学校	0 (0)	4 (0)	4 (0)	2 (2)	48 (0)	5 (0)	63 (2)
沖縄工業高等専門学校	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)
計	45 (11)	41 (1)	29 (3)	25 (21)	505 (100)	33 (18)	678 (154)

（注）女子は内数として（　）内に記入

柔道競技実施要項

１．主　　催　　久留米工業高等専門学校
　　九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟

２．主　　管　　九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟柔道競技専門部

３．後　　援　　久留米市、久留米市教育委員会

４．大会期日　　令和５年７月１５日（土）･･･ 団体試合
　　１６日（日）･･･ 個人試合

５．大会会場　　久留米アリーナ

６．チーム人員　　監督１名、コーチ１名、マネージャー１名、選手７名以内、計１０名以内とする。
　　ただし、個人試合においては、前記以外の選手を出場させることができる。

７．競技規定

（１）「国際柔道連盟試合審判規定」による。

（２）「優勢勝ち」の判定基準について

ア　団体試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差２とする。

　チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。代表戦における判定基準は「技有」又は「僅差」以上とし、その延長戦の判定基準は、個人試合に準ずる。

　団体戦の代表戦以外の試合において、「同時一本」の場合は「引分」とし、「両者反則負」の場合は両者負けとする。

イ　個人試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差２とする。

　技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）において勝敗を決する。

　延長戦による判定基準は「技有」以上の得点、又は「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。

　個人戦又は団体戦の代表戦において、「同時一本」もしくは累積による「両者反則負」の場合は、スコアをリセットし、延長戦（ゴールデンスコア）において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負」となった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦（ゴールデンスコア）を行い必ず勝敗を決する。

（３）関節技において、その効果があると認めたとき、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。但し、絞技においては、見込みによる判定を行わない。

（４）試合時間は、団体試合、個人試合とも４分とする。

８．競技方法

（１）団体試合

ア　団体試合の組合せは、監督会議で抽選を行う。

イ　参加チームが６校以上の場合、参加チームを３ブロックに分け、予選リーグを行い、各１位の３チームにより決勝リーグを行う。

ウ　前年度の決勝リーグ戦の成績によって、第１位チームをＡブロック、第２位チームをＢブロック、３位チームをＣブロックにシードする。参加チームが９チームに満たない場合、満たないチーム数をＡブロック、Ｂブロック、Ｃブロックの中で１チームずつ減ずる。

エ　決勝は各ブロックの１位によるリーグ戦で行う。（組み合わせは抽選による。）

オ　試合は各チーム５名の点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。

カ　リーグ戦の順位の決定は次による。

（ア）リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
② ①で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
③ ②で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
④ ③で同数の場合は，「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
⑤ ④で同等の場合は、引き分けとする。

（イ）リーグ戦の順位は、２勝・１勝１分・１勝１敗・２分・１分１敗・２敗の順とする。
（ウ）（イ）で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
（エ）（ウ）で勝ち数の同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
（オ）（エ）で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
（カ）（オ）で同数の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。
（キ）（カ）で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
（ク）（キ）で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
（ケ）（ク）で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
（コ）（ケ）で同数の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。
（サ）（コ）で同等の場合は、代表戦を行う。

キ　参加チームが５チーム以下の場合、全参加チームの総当たり戦を行い、順位を決める。この場合の順位は､カに準ずる｡例えば､参加チームが５チームの場合の組合せは次のようにする。ただし、各試合で第Ⅰ試合場、第Ⅱ試合場を交互に使用する。また、同一チームの試合には１０分以上の間隔が確保できるよう試合開始時刻を調整する。

第Ⅰ試合場	第Ⅱ試合場
１－２	(なし)
(なし)	３－４
５－１	(なし)
(なし)	２－３
４－５	(なし)
(なし)	１－３
２－４	(なし)
(なし)	３－５
１－４	(なし)
(なし)	２－５

（２）　個人試合

ア　【男子】

（ア）出場選手は、66kg 級、73kg 級、81kg 級、無差別級ともに各校２名以内とする。
（イ）各級別にトーナメント戦とし、代表者決定戦も行う。
（ウ）個人試合の組合せは、監督会議で抽選を行う。
（エ）個人試合は、シード制を設ける。

① シードされるのは、前年度１位から３位の４人とする。
② シード権があっても、階級を変えるとシード権は消える。
③ 実際の組み合わせは、シードよりも同一校同士の対戦を避けることを優先する。

（オ）計量は、団体戦終了後に会場において厳正に行う。（計量の開始時刻は、監督会議において決定する。）

定められた時間内に計量を受けなかった者及び規定の計量に合格しなかった者は失格とする。

イ　【女子】

（ア）出場選手は、48kg 級、52kg 級、57kg 級、無差別級ともに各校２名以内とする。
以下（イ）～（オ）については男子に同じ

９．注意事項・その他

（１）競技が天候不調により中止になった場合の全国大会出場者の選出は、団体戦、個人戦、それぞ

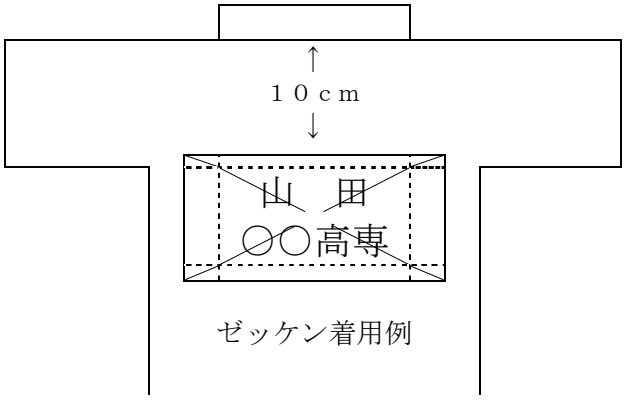
れ出場する意思をメール等で確認し、その中から担当校が抽選により決める。抽選の様子はテレビ会議で放映する。

（２）団体試合におけるオーダー用紙の提出は、各試合とも開始 15 分前とする。オーダーは登録選手７名の枠内において各試合ごとに組替えてよい。ただし、定められた時刻までにオーダーの提出がなかった場合は、前試合と同じオーダーでもって試合を行わなければならない。また、連続して試合に出場する場合に限り、前試合終了後直ちに提出すればよいことにする。

（３）エントリー変更は、不慮の事故、負傷のために出場できなくなった場合に、監督会議に申し出て承認を得るものとする。また、入学試験、就職試験、インターンシップ等の学生の不可抗力により出場できなくなった場合については、監督会議開催日の１週間前までに当番校に申し出を行うとともに、監督会議にて承認を得るものとする。なお、エントリーの変更にあたっては、医師又は学校長の証明を添付のうえ申し出を行うものとし、監督会議にて審議を行う。

（４）柔道衣の検査を試合前に行う。違反者は着替えることとする。

（５）選手は、上衣の左胸部にハガキ大（10×15cm）の校名、背部に全日本柔道連盟規定のゼッケン（縦 25cm、横 32cm の白布地に姓・校名を横書きしたもの）をつける。



ゼッケン着用例

（６）全日本柔道連盟登録記録コピーを持参する。

（７）試合中の負傷については、大会本部で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。但し、脳振盪・皮膚真菌症（トンズランス）に関しては次のとおりとする。

＜脳振盪における扱い＞

ア　大会１ケ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

イ　大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること）

ウ　練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

エ　当該選手の指導者は、大会事務局（公財）全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

＜皮膚真菌症（トンズランス）における扱い＞

皮膚真菌症（トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関に於いて、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。疑わしい場合には大会長に申告の上、指示を仰ぐこととする。

（８）大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。

組合せ及び予定時刻

(1) 団体試合の部
　　７月１５日（土）

・団体試合の部　記録表

	1	2	3	4	5	勝率			勝利内容				順位
						勝	負	分	一本	技有	有効	僅差	
1													
2													
3													
4													
5													

・試合順

	第一試合場	第二試合場
第一試合 10:00開始	1　－　2	
第二試合 10:20開始		3　－　4
第三試合 10:40開始	5　－　1	
第四試合 11:00開始		2　－　3
第五試合 11:20開始	4　－　5	
第六試合 11:40開始		1　－　3
第七試合 12:00開始	2　－　4	
第八試合 12:20開始		3　－　5
第九試合 12:40開始	1　－　4	
第十試合 13:00開始		2　－　5

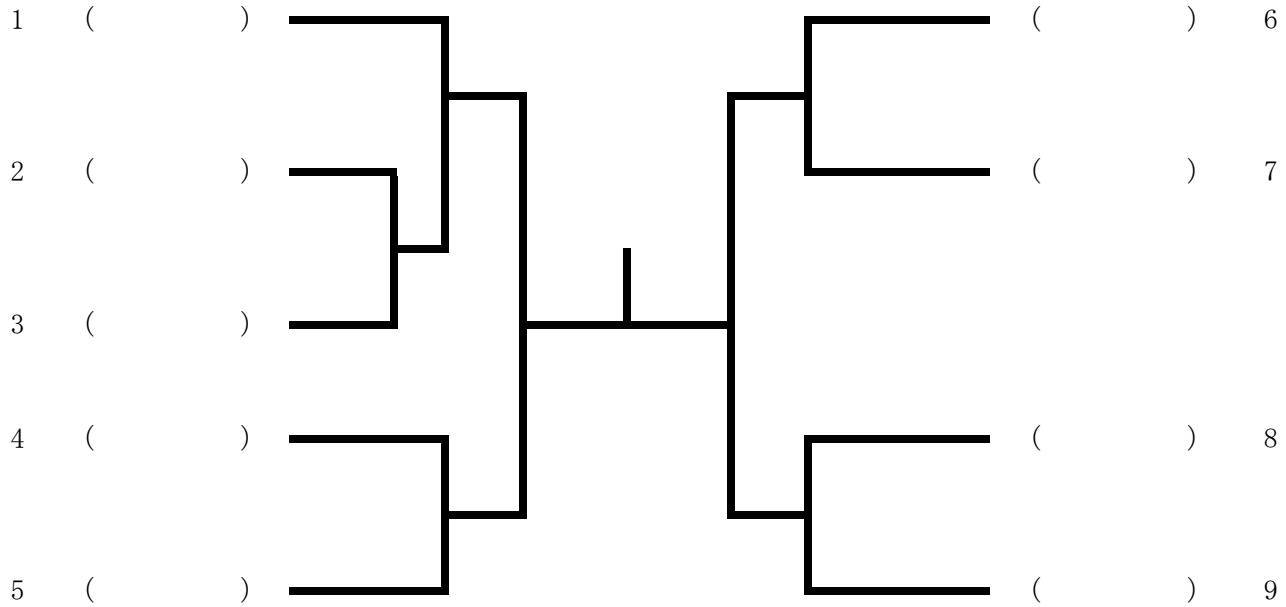
（２）個人戦の部

７月１６日（日）

○66kg級

Aパート
氏名
(学校名)

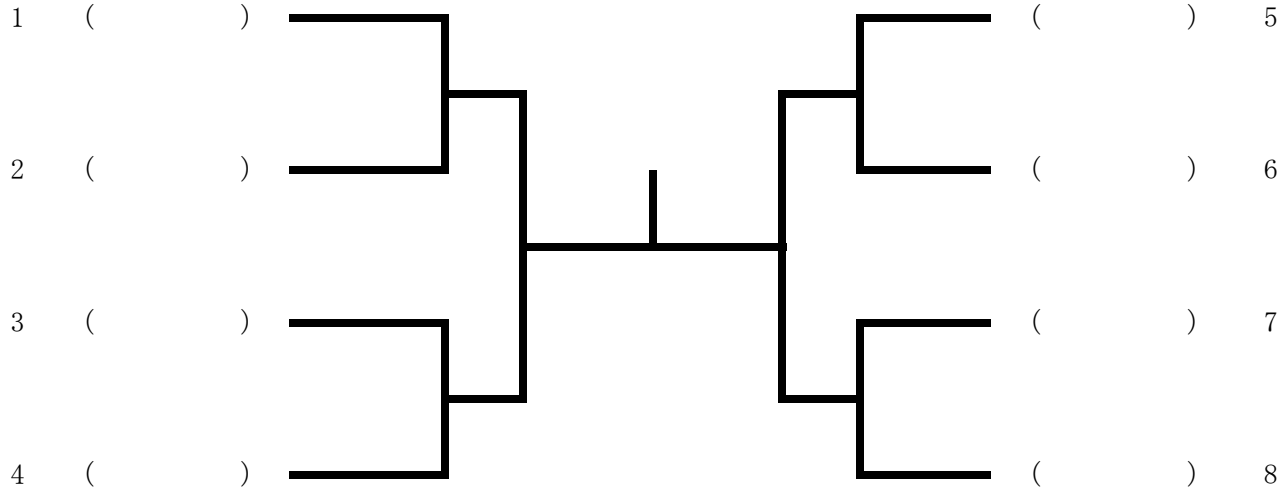
Bパート
氏名
(学校名)



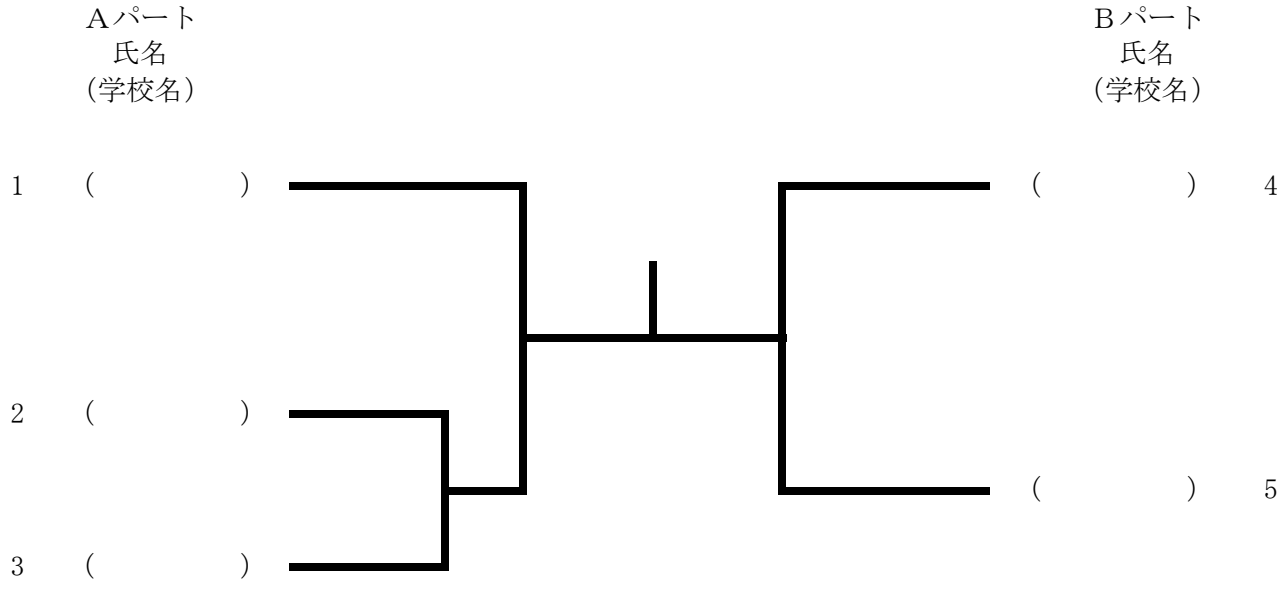
○73kg級

Aパート
氏名
(学校名)

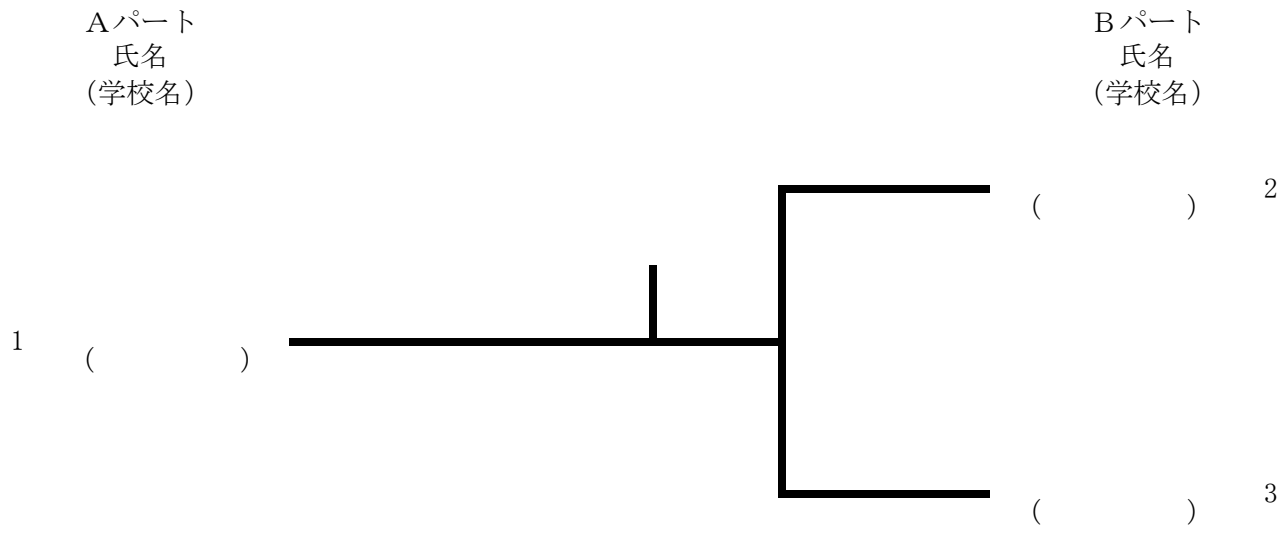
Bパート
氏名
(学校名)



○81kg級



○無差別級



(注) 組合せについては監督者会議で決定する。

競　技　役　員

審判長	審判員

出　場　選　手　名

学校		メンバー									
		監督	コーチ	マネージャー	主将	2	3	4	5	6	7
北九州高専	学年				2	2	1	3			
	段位				初	無	無	初			
	身長				168	164	175	163			
	体重				66	73	66	66			
	氏名										
熊本高専（八代）	学年				4	4	4	2	2	1	
	段位				初	無	無	初	初	初	
	身長				175	171	169	168	172	172	
	体重				80	67	74	70	63	62	
	氏名										
大分高専	学年			1	4	5	3	3	3	3	1
	段位				弐	初	弐	初	無	無	無
	身長				175	165	165	170	178	170	170
	体重				78	60	56	80	71	68	52
	氏名										

学　校		メンバー									
		監督	コーチ	マネージャー	主将	2	3	4	5	6	7
都城高専	学年				4	1	2	1	4		
	段位				弐	初	無	初	初		
	身長				161	177	170	164	167		
	体重				53	70	62	72	70		
	氏名										
鹿児島高専	学年				5	3	2	2			
	段位				初	初	初	初			
	身長				167	171	161	175			
	体重				91	70	58	81			
	氏名										

個 人 戦【男子】

学校		選手名	学年	段位	身長	体重	学校		選手名	学年	段位	身長	体重
有明高専	66kg級	[redacted]	2	初	171	66	大分高専	66kg級	[redacted]	5	初	165	60
										3	弐	165	56
	73kg級							73kg級		3	無	178	73
										4	無	178	71
	81kg級							81kg級		4	弐	175	78
										3	初	170	80
	無差別級		5	初	172	95		無差別級		5	無	170	90
										4	無	165	60
北九州高専	66kg級		2	初	168	66	都城高専	66kg級		4	弐	161	53
										2	無	170	62
	73kg級		2	無	164	73		73kg級		1	初	177	70
										1	初	164	72
	81kg級							81kg級					
	無差別級							無差別級					
熊本高専（八代）	66kg級		1	初	172	62	鹿児島高専	66kg級		2	初	160	58
			2	初	172	63							
	73kg級		4	無	171	67		73kg級		3	初	171	70
			2	初	168	70							
	81kg級		4	初	175	80		81kg級		2	初	175	81
			4	無	169	74							
	無差別級							無差別級					

個 人 戦【女子】

学　　校		選　手　名	学年	段位	身長	体重
大分高専	48kg級					
	52kg級		1	無	163	50
	57kg級					
	無差別級					

●　久　留　米　会　場

1　監督会議日時及び会場

種　　目	日　　時	会　　場
サ　ッ　カ　ー	7月１４日（金）　１２：００	グリーンピア八女　大研修室
柔　　道	7月１４日（金）　１６：００	久留米アリーナ　研修室
バレーボール（男子・女子）	7月１４日（金）　１７：００	久留米アリーナ　大研修室
テ　ニ　ス	7月１０日（月）　９：３０	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本会議室

2　開会式日時及び会場

種　　目	日　　時	会　　場
サ　ッ　カ　ー	7月１４日（金）　１３：３０	八女東部スポーツ公園 グリーンフィールド八女
柔　　道	7月１５日（土）　９：３０	久留米アリーナ
バレーボール（男子・女子）	7月１５日（土）　９：００	久留米アリーナ
テ　ニ　ス	7月１０日（月）　１０：１０	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本

3　緊急病院

種　　目	病　院　名	住所・電話番号
サ　ッ　カ　ー	川崎病院	〒834-0024 福岡県八女市津江 538 電話 0943-23-3005
柔　　道 バレーボール（男子・女子）	聖マリア病院	〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 電話 0942-35-3322
テ　ニ　ス	熊本赤十字病院	〒861-8520 熊本市東区長嶺南 2 丁目 1 番 1 号 電話 096-384-2111

九州沖縄地区体育大会優勝校一覧

競技種目（柔　道）

大会	年度	優勝校	大会	年度	優勝校
第１回	昭和３９年度	―	第２８回	平成３年度	八代
第２回	昭和４０年度	佐世保	第２９回	平成４年度	八代
第３回	昭和４１年度	大分	第３０回	平成５年度	八代
第４回	昭和４２年度	鹿児島	第３１回	平成６年度	熊本電波
第５回	昭和４３年度	鹿児島	第３２回	平成７年度	熊本電波
第６回	昭和４４年度	鹿児島	第３３回	平成８年度	熊本電波
第７回	昭和４５年度	鹿児島	第３４回	平成９年度	熊本電波
第８回	昭和４６年度	有明	第３５回	平成１０年度	熊本電波
第９回	昭和４７年度	佐世保	第３６回	平成１１年度	大分
第１０回	昭和４８年度	有明	第３７回	平成１２年度	大分
第１１回	昭和４９年度	久留米	第３８回	平成１３年度	大分
第１２回	昭和５０年度	久留米	第３９回	平成１４年度	八代
		都城	第４０回	平成１５年度	北九州
第１３回	昭和５１年度	久留米	第４１回	平成１６年度	佐世保
		都城	第４２回	平成１７年度	佐世保
第１４回	昭和５２年度	北九州	第４３回	平成１８年度	佐世保
		熊本電波	第４４回	平成１９年度	北九州
第１５回	昭和５３年度	北九州	第４５回	平成２０年度	大分
		熊本電波	第４６回	平成２１年度	大分
第１６回	昭和５４年度	有明	第４７回	平成２２年度	都城
		熊本電波	第４８回	平成２３年度	都城
第１７回	昭和５５年度	鹿児島	第４９回	平成２４年度	都城
第１８回	昭和５６年度	北九州	第５０回	平成２５年度	有明
第１９回	昭和５７年度	北九州	第５１回	平成２６年度	有明
第２０回	昭和５８年度	大分	第５２回	平成２７年度	有明
第２１回	昭和５９年度	大分	第５３回	平成２８年度	熊本（八代）
第２２回	昭和６０年度	大分	第５４回	平成２９年度	有明
第２３回	昭和６１年度	鹿児島	第５５回	平成３０年度	熊本（八代）
第２４回	昭和６２年度	都城	第５６回	令和元年度	都城
第２５回	昭和６３年度	佐世保	第５７回	令和２年度	中止
第２６回	平成元年度	八代	第５８回	令和３年度	中止
第２７回	平成２年度	八代	第５９回	令和４年度	鹿児島